

報告第7号

令和6年度公益財団法人北播磨地場産業開発機構事業計画及び予算の報告について

地方自治法（昭和22年法律第67号）第243条の3第2項の規定により、令和6年度公益財団法人北播磨地場産業開発機構事業計画及び予算を別紙のとおり報告する。

令和6年6月7日

西脇市長 片山 象三

令和6年度事業計画書及び収支予算書

公益財団法人北播磨地場産業開発機構

令和6年度事業計画書

(令和6年4月1日から令和7年3月31日まで)

我が国の経済は、新型コロナウイルス感染症が昨年5月に「5類」に移行し、約3年ぶりに行動制限がなくなったことで、社会経済活動の正常化が進み、インバウンドの回復等により緩やかに回復基調が続いていくと予想される。しかし、個人消費については、長期化する物価高騰に実質所得が追いつかず、消費マインドは依然低迷している。更に、急激な円安に加え、人手不足の深刻化など、我が国を取り巻く環境は厳しさが増しており、経済の見通しは不透明な状況となっている。

「播州織」については、コロナ禍で拡大したEC市場で独自開発の最終製品や生地の提案を続けながら、本格的に復活した国内外の展示会への出展や個社での展示会開催など、販路開拓や情報発信に取り組んでおり、異業種との連携を図りながら新たな可能性を探求する動きも増えてきている。しかし、原糸、染料、薬品等の原材料費や燃料価格の高騰に加え、物価高騰により利益率が下がる厳しい状況になっており、先行きは不透明である。

「播州釣針」については、コロナ禍でも楽しむことのできる娯楽として好調が続いていたが、旅行など他の娯楽が回復してきたこともあり、今後は維持することが難しいと言われている。また、釣り人口の増加によりマナーの低下が顕著に現れ、釣り場の減少問題へと発展している。更に、原油・原材料費の高騰のため生じた在庫不足による欠品や納期遅延等が影響し、業況はマイナスに転じている。

「播州織」と「播州釣針」の業界においては、地域ブランドである「播州織」及び「播州毛鉤」の発信に努めるとともに、新商品の開発、各種展示会への出展などの事業に取り組み、地場産品のPR、販路拡大や産地生産体制の維持に努めているところである。特にSDGs（持続可能な開発目標）の達成に向け、地場産業においてもサステナビリティ（持続可能性）の意識を醸成する（地場産業のブランド価値を高める）事業に取り組んでいくことが必須になってきている。

当財団では、引き続き地場産業振興のための適切な育成支援事業を展開していくため、兵庫県及び地域行政の支援を得ながら、関係業界と連携してより効果的な事業の推進を図る計画である。

本年度の具体的な事業内容は、次のとおりである。

記

〔公益目的事業〕

北播磨地域の地場産業の普及振興事業及び人材育成事業

1 新製品・新技術及びデザインの研究開発事業（定款第4条第1号）

(1) 播州織ブランド新商品試作開発事業

ア 事業内容

地域ブランド「播州織」を市場に発信し、最新の先染織物播州織を提案するため、伝統の織技術と最新の加工技術を駆使して新商品の試作開発を行う。

イ 実施方法

新商品試作開発委員会を組織し、染・織・加工の技術を駆使した先染めテキスタイルの試作開発を行い、展示会で提案して「播州織」ブランドの良さをPRする。

2 地場産業製品の普及事業（定款第4条第2号）

(1) 播州織総合素材展事業（播州織フェア）

ア 事業内容

令和5年度から名称を播州織フェアに改め開催している。今年度も2025大阪・関西万博を見据え、地場産業を伝えつなげることができる機会と捉えて、西脇市で開催する。

出展各社の展示により播州織産地と高品質先染織物ブランド「播州織」をPRし、新規顧客の開拓など販路開拓に努める。また、播州織生産工程の工場見学ツアー、生地や最終製品の販売等を実施して、産地に顧客を呼び込み播州織産地の活性化を図る。

イ 実施方法

播州織業界及び地域行政で実行委員会を構成し、事業の企画と実施に当たり、より効果的な事業の推進を図る。

ウ 実施時期・場所

時 期 令和6年10月

場 所 西脇市市民交流施設

(2) 播州織ブランド普及振興事業

ア 事業内容

播州織の認知度向上とイメージアップを図るため、「播州織」を使用した魅力ある製品づくりを行い、播州織ブランドをPRする。

イ 実施方法

播州織ブランド普及振興事業実行委員会（地域行政、業界）を組織し、事業内容の企画検討を行う。

(7) 播州織コレクション事業

播州織製品の試作開発を行い、ファッションショーを開催し、播州織と播州織産地のPRを図る。

実施時期・場所

時期 令和6年10月

場所 西脇市市民交流施設

(イ) ブランド発信PR事業

ホームページ等によるPRを行う。

(ウ) ひょうごじばさんフェア事業

西日本最大級の産業総合展示会「国際フロンティア産業メッセ2024」内の特設ブース「ひょうごじばさんフェア2024」に出展し、播州織産地と高品質先染織物「播州織ブランド」をPRすることで、播州織の認知度向上と販路開拓を図る。

実施時期・場所

時期 令和6年9月

場所 神戸市中央区（ポートアイランド内）

(3) SDGs推進事業

ア 事業内容

持続可能な播州織産地の維持・確保と播州織の魅力向上に向けて、SDGsの理念を踏まえた取組を推進する。

(7) 播州織の製織段階で生じる残糸等を利用したテキスタイルの試作開発及び播州織製品の製作

(イ) 播州織産地のSDGsに関する取組のPR等

イ 実施方法

(7) 播州織SDGs推進事業研究会を組織し、播州織の残糸や廃棄衣料由来の再生糸等を利用したテキスタイルを試作開発し、展示会で展示する。

(イ) 令和4年及び令和5年に試作開発したテキスタイルを使用して製作した播州織製品を展示会等で配布して普及に努める。また、展示会等で播州織産地のSDGsに関する取組を紹介する動画を公開して、播州織産地のイメージ向上を図る。

(4) 播州織相談員事業

ア 事業内容

播州織に関する相談員を設置し、西脇市内の播州織の企業等の競争力強化及び播州織の振興を図る。

(7) 播州織競争力の強化に関すること。

(イ) 播州織ファッションショーに関すること。

- (ウ) 播州織のPRに関すること。
- (エ) 播州織の振興に関すること。

(5) 播州釣針地場産業展出展事業

ア 事業内容

播州釣針及び地域ブランド「播州毛鉤」の普及・PRのため、各種展示会に積極的に出展を行い、市場関係者及び消費者にPRして播州釣針産業への関心を高めるとともに、需要拡大の機会を創出する。

(ア) 播州釣針及び釣針製品の展示

(イ) 毛鉤製作の実演

イ 実施方法

釣針業界で実行委員会を組織して事業の企画を行う。毛鉤製作の実演については、播州毛鉤伝統工芸士を中心に行い、播州釣針及び釣針製品の展示も併せて行う。

ウ 実施時期・場所

(ア) にしわき産業フェスタ

時 期 令和6年11月

場 所 西脇市

(イ) 伝統工芸ふれあい広場

時 期 令和6年11月

場 所 石川県金沢市

(ウ) 釣りフェスティバル2025・横浜

時 期 令和7年1月

場 所 横浜市

(エ) 東京インターナショナルギフトショー春2025

時 期 令和7年2月

場 所 東京都

(6) 播州釣針普及事業

ア 事業内容

播州釣針のPRと消費者ニーズを把握するとともに、釣り人口を拡大して播州釣針の販売促進を図るため、主として家族及び子どもを対象とした釣り大会を実施する。

また、資源保護のため稚魚の放流も行う。

イ 実施時期・場所

(ア) 稚魚の放流事業

時 期 令和6年6月

場 所 明石市ほか

- (イ) 鮎の毛鉤釣り大会
時 期 令和6年6月
場 所 神奈川県 相模川
- (ウ) ファミリー海釣り教室
時 期 令和6年9月
場 所 神戸市

3 地場産業の経営者、技術者等の研修事業（定款第4条第4号）

(1) 人材育成事業

ア 人材育成研修事業

(ア) 事業内容

産地の魅力を高めるための商品開発力、各分野の専門知識の習得やブランドPR戦略等のセミナー又は講習会を実施する。

(イ) 実施方法

産業界関係者を対象に、商品企画・開発、ブランドPR戦略、IT活用、技術継承等のセミナー又は講演会を年間数回実施する。

〔収益等事業〕

その他の事業

1 地場産業振興のための情報の収集提供に関する事業（定款第4条第3号）

(1) 播州織情報収集事業

ア 事業内容

播州織の生産状況、出荷状況などを迅速に把握し、かつ、産地内外へ提供することで、情報の共有化と生産の効率化を図る。

イ 実施方法

各関係機関でまとめたデータ等を定期的に収集し、産地内外に提供する。

提携先 一般財団法人メンケン品質検査協会、業界団体

2 地場産業振興のための調査事業（定款第4条第5号）

(1) 戦略推進事業

ア 事業内容

地場産業である播州織を守るため、平成28年3月に播州織ビジョン委員会から報告された「播州織への提言」の内容について、実行状況を見守る。

また、他産地との交流事業を実施し、他産地の状況を調査す

る。

イ 実施方法

(7) 「播州織への提言」実現に向けての状況を見守りつつ、播州織産地の現状を的確に把握し、産地課題の解決と将来像に向けての研究を行う。

(4) 産地間交流事業については、交流先を調査し、産地業界から希望者を募集し実施する。

3 縫製品PR事業（定款第4条第2号）

(1) 縫製品PR事業

ア 事業内容

にしわき産業フェスタで縫製品の展示を行い、関係者及び消費者にPRして需要拡大の機会を創出するとともに「播州織ブランド」の発信を図る。

イ 実施時期・場所

時 期 令和6年11月

場 所 西脇市

収支予算書

(令和6年4月1日から令和7年3月31日まで)

(単位：千円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	4,906	3,721	1,185
基本財産利息収入	4,906	3,721	1,185
受取補助金等	16,110	16,920	△ 810
地場産業ブランド力強化促進事業補助金	3,000	2,900	100
じばさん兵庫SDGs推進事業補助金	2,600	3,000	△ 400
地場産業等活性化支援事業補助金	0	500	△ 500
団体補助金	130	140	△ 10
地方公共団体補助金	10,380	10,380	0
受取負担金	5,000	4,990	10
分担金収入	5,000	4,990	10
雑収益	17	39	△ 22
受取利息	16	38	△ 22
雑収入	1	1	0
経常収益計	26,033	25,670	363
(2) 経常費用			
事業費	17,483	17,334	149
報償費	1,000	1,000	0
旅費	1,130	985	145
会議費	19	14	5
通信運搬費	153	88	65
印刷製本費	350	155	195
消耗品費	371	142	229
賃借料	580	389	191
会場整備費	3,200	0	3,200
広告宣伝費	1,400	0	1,400
外注加工費	264	264	0
役務費	264	264	0
原材料費	348	328	20
負担金支出	245	37	208
雑費	1	1	0
支払手数料	12	7	5
繰入金支出	8,146	13,660	△ 5,514
管理費	9,364	10,064	△ 700
給料手当	5,640	6,210	△ 570
福利厚生費	1,000	1,220	△ 220
通勤費	138	138	0
会議費	16	16	0
旅費	110	100	10
通信運搬費	100	100	0
消耗品費	200	180	20
印刷製本費	20	20	0
賃借料	1,300	1,300	0
共益費	320	310	10
諸謝金	200	200	0
負担金支出	170	170	0
雑費	150	100	50
経常費用計	26,847	27,398	△ 551
当期経常増減額	△ 814	△ 1,728	914

収支予算書

(令和6年4月1日から令和7年3月31日まで)

(単位：千円)

科 目	当年度	前年度	増減
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
他会計振替額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 814	△ 1,728	914
一般正味財産期首残高	236,421	236,557	△ 136
一般正味財産期末残高	235,607	234,829	778
II 指定正味財産増減の部			
一般正味財産への振替額	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	235,607	234,829	778

令和6年度業界別事業予算説明

(単位：千円)

業 界 名	事 業 名	予 算 額	備 考
播州織業界	播州織ブランド新商品試作開発事業	1,268	
	播州織総合素材展事業（播州織フェア）	5,610	
	播州織ブランド普及振興事業	3,597	
	SDGs推進事業	2,901	
	播州織相談員事業	1,000	
	播州織情報収集事業	742	
	戦略推進事業	61	
	小 計	15,179	
釣針業界	播州釣針地場産業展出展事業	666	
	播州釣針普及事業	1,150	
	小 計	1,816	
縫製関係	縫製品PR事業	15	
	小 計	15	
共通事業	人材育成事業	473	
	小 計	473	
合 計		17,483	

令和6年度事業別予算説明

(単位：千円)

区分	事業名	科目	予算額	備考	
(公1) 北播磨地域の地場産業の普及振興事業及び人材育成事業	新製品・新技術及びデザインの研究開発事業	播州織ブランド新商品試作開発事業	繰入金支出	1,268	特別会計へ
			合計	1,268	
	地場産業製品の普及事業	播州織総合素材展事業(播州織フェア)	会議費	5	委員会賄費
			通信運搬費	50	郵送料
			印刷製本費	200	案内状他印刷他
			賃借料	500	オリナスホール使用料他
			会場整備費	3,200	展示設営費他
			広告宣伝費	1,400	新聞広告料他
			消耗品費	250	事務用品他
			支払手数料	5	振込手数料
			合計	5,610	
			SDGs推進事業	播州織ブランド普及振興事業	旅費
	会議費	3			会議賄費
	SDGs推進事業	播州織相談員事業	通信運搬費	1	郵送料
			消耗品費	2	事務用品他
	SDGs推進事業	播州織相談員事業	支払手数料	1	振込手数料
			繰入金支出	3,510	特別会計へ
	合計	3,597			
	SDGs推進事業	播州織相談員事業	繰入金支出	2,901	特別会計へ
			合計	2,901	
SDGs推進事業	播州織相談員事業	報償費	1,000		
		合計	1,000		
SDGs推進事業	播州釣針地場産業展出展事業	旅費	500	委員旅費	
		賃借料	70	出展料	
SDGs推進事業	播州釣針地場産業展出展事業	原材料費	95	放流費	
		支払手数料	1	振込手数料	
合計	666				
SDGs推進事業	播州釣針普及事業	旅費	500	委員旅費	
		印刷製本費	150	案内状、ポスター	
SDGs推進事業	播州釣針普及事業	原材料費	253	放流費	
		負担金支出	245	入漁料	
SDGs推進事業	播州釣針普及事業	支払手数料	2	振込手数料	
		合計	1,150		
地場産業の経営者、技術者等の研修事業	人材育成事業	会議費	6	会議賄費	
		繰入金支出	467	特別会計へ	
合計	473				
その他の事業	(他1) 地場産業振興のための情報の収集提供に関する事業	播州織情報収集事業	通信運搬費	100	電話回線使用料、郵送料
			消耗品費	112	専門紙、事務用品他
			外注費	264	ホームページ管理・更新料
			役員費	264	調査資料費
			支払手数料	2	振込手数料
	合計	742			
	(他2) 地場産業振興のための調査事業	戦略推進事業	旅費	50	職員旅費
			会議費	5	会議賄費
			通信運搬費	2	郵送料
			消耗品費	2	事務用品他
			雑費	1	視察土産物代
	支払手数料	1	振込手数料		
合計	61				
(他3) 縫製品PR事業	縫製品PR事業	賃借料	10	出展料	
		消耗品費	5	事務用品他	
合計	15				
合計			17,483		

特別会計説明

1 播州織ブランド新商品試作開発事業

(県：地場産業ブランド力強化促進事業 国内展開事業)

収入の部 (単位：千円)

科 目	金 額	備 考
繰入金収入	1,268	県補助金 600 自己資金 668
合 計	1,268	

支出の部 (単位：千円)

経費区分	科 目	金 額	備 考
研究開発事業費	試織費	1,100	試織費
	サンプル作成費	55	サンプル作成費
	小 計	1,155	
庁費	通信運搬費	2	郵送料
	消耗品費	2	事務用品費
	賃借料	5	会議室借料
	会場整備費	100	展示設営費
	支払手数料	4	振込手数料
	小 計	113	
合 計	計	1,268	

2 播州織ブランド普及振興事業

(県：地場産業ブランド力強化促進事業 国内展開事業)

収入の部 (単位：千円)

科 目	金 額	備 考
繰入金収入	3,510	県補助金 2,260 自己資金 1,250
合 計	3,510	

支出の部 (単位：千円)

経費区分	科 目	金 額	備 考
研究開発事業費	製品製作費	440	製品製作費
庁費	会議費	2	会議賄費
	通信運搬費	20	郵送料
	消耗品費	9	事務用品費
	印刷製本費	66	チラシ等印刷費
	賃借料	110	会場・会議室等借料
	会場整備費	2,860	企画・音楽・照明等
	支払手数料	3	振込手数料
	小 計	3,070	
合 計	計	3,510	

3 人材育成事業

(県：地場産業ブランド力強化促進事業 人材育成事業)

収入の部

(単位：千円)

科 目	金 額	備 考
繰入金収入	467	県補助金 200 自己資金 267
合 計	467	

支出の部

(単位：千円)

経費区分	科 目	金 額	備 考
謝金	謝金	385	研修会・講演会講師料
旅費	旅費	44	講師旅費
庁費	会議費	8	会議賄費
	通信運搬費	3	郵送料
	消耗品費	3	事務用品費
	印刷製本費	22	資料等印刷費
	支払手数料	2	振込手数料
	小 計	38	
合 計		467	

4 SDG s 推進事業

(県：じばさん兵庫SDG s 推進事業)

収入の部

(単位：千円)

科 目	金 額	備 考
繰入金収入	2,901	県補助金 2,600 自己資金 301
合 計	2,901	

支出の部

(単位：千円)

事業区分	経費区分	科 目	金 額	備 考
SDG s 実践	研究開発事業費	製造・改良・加工 ・検査・実験費	850	生地試作費 800 サンプル作成費 50
		庁費	会議費	12
	通信運搬費		3	郵送料
	賃借料		10	会議室使用料
	支払手数料		3	振込手数料
		小 計	28	
	合 計	878		
SDG s 発信	旅費	旅費	350	職員等旅費
	庁費	通信運搬費	50	郵送料
		展示会等出展費	1,420	展示会出展料 500 会場整備費 900 事務用品費 20
		広報費	200	チラシ等作成費
		支払手数料	3	振込手数料
		合 計	2,023	
総 計		2,901		